OUT THERE Itoshima
志摩園だより

2017. 7.31発行
社会福祉法人
志摩会
第56号

福岡県糸島市志摩久家2527番地の2
TEL092-328-2121
E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp
http://www.shimaen.or.jp

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン
配食サービス

小規模多機能型居宅介護

糸島市志摩地域包括支援センター

地域貢献：オレンジ志縁隊・げんき志縁隊・せいかつ志縁隊、たまり場岐志・桜野・姫島茶所、おこもりカフェ岐志浜

6月3日　さなぼり交流会

心はひとつに

準備も整い、いよいよ9回目のさなぼりの滑り出し
気持ちが
弾む瞬間です

地域ケアたからんたま志摩　開設10周年

6月3日
さなぼり交流会

十年の時間の流れに周囲の景色は少しずつ変貌を遂げていますが、“地域と共に”のたからんたまの精神はさらに深化します

爽やかな気持ちいい日和に相性バツグンの今年の早乙女です

早乙女ファンにもサービスショット

鏡のような水

子供達もスタンバイ

足をとられ尻ももちをついてもがんばりました

オタマジャクシやゲンゴローが怖かったりしましたが、田んぼのスベスベ＆ヒンヤリ感に気持ちイイと楽しんでくれました。手植えの醍醐味です

田植えの後は飲食、ゲームと続きます

コットンキャンディづくりもサマになるイケメン！

射的はいつも大人気

師吉区小学育成会、糸島市青年団、民生児童委員、志摩の輪他皆様のご協力ありがとうございました

6月24日 志摩園創立記念演芸会

いつも5月に催す演芸会ですが、今年は6月に。メインキャストはその年の新人職員、練習時間はたっぷりあったので当然期待も膨らませて …

体を張って成し遂げました

雨の午後の退屈しない度は最高潮

今回は二部制のハイブリッド企画！続くはカラオケ大会

今日のショートケーキとナポリタンは格別に美味しかったはず。先輩もありがとう。

コンサルティングプログラムがキックオフ！

いよいよ新社会福祉法人制度が始まり、志摩会も経営環境の変化に適応するために、新たに人材育成事業に取組みます。

プログラム 1

法人や事業所をこれから支える管理職の育成を目的にする「中核職員」養成事業です

外部講師の先生方の説明にグイグイ引っ張られます

経営、事業戦略、事業計画、予算 …
これまであまり馴染が無かった課題に戸惑うことは当然で、理屈を掴めばレスポンスも向上するはずです

プログラム 2

「人事は法人の心臓」と心得て、給与や賞与を決めることではなく、「人が育つ」人事考課制度を構築していきます。

これまでの“定義のないマネジメント”でも成長できた時代から、これからはきちんと定義をもってマネジメントを再構築します。

ピックアップ

平成28年度主要活動

なんといっても、社会福祉法人制度改革関連業務は、これまでにないレベルの対応を強いられました。しかも一年もない準備期間の中で、積み残した課題もあって、引続き手を加えていくところです

Ⅰ 人材の確保（老人ホーム夜勤者6名退職）

	正規	非正規	退職者計
特養介護	7人	4人	11人
	内、夜勤従事者		
	6人	0人	6人

【退職理由全体】

- 資格取得の為１名
- 他の職業へ　３名
- 他の施設へ　２名
- 結婚退職　１名
- 定年で一度リセット１名
- 病気療養その他　３名

※日中時間帯の人員は相応に確保できましたが、夜勤ができる人は簡単には見つかりませんでした。また採用できても、介護未経験者の場合夜勤ができるまで半年かけて育成しますので、すぐに退職者の穴を埋めることができません。そのため、一時的に新規の入所のタイミングを調整して対応しましたので、特養の稼働率が下がりました。志摩園入所をお待ちの皆様にもご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

Ⅱ 地域貢献活動　～　地域包括ケア開発室から　～

1 オレンジ志縁隊

地域に出向き、主に認知症サポーター養成講座を開催しました。

5/16	市内老人ホーム	受講者	23名
6/23	市内小学校4年生	受講者	32名
6/23	市内サロン	受講者	52名
7/21	市内サロン	受講者	11名
9/2	市内サロン	受講者	17名
9/7	市内小学校4年生	受講者	18名
9/15	市内小学校4年生	受講者	70名
9/15	市内小学校4年生	受講者	70名
10/3	市内小学校3年生	受講者	77名
11/29	家庭介護者向け	受講者	11名
12/12	市内小学校4年生	受講者	26名
1/17	市内高校生	受講者	23名
2/22	市内中学生	受講者	77名
		計	507名

※座学に終始せず、双方向の質問や劇に出演など生徒さん方の参加型にする工夫しています

2 げんき志縁隊

志摩圏域のふれあいいきいきサロンの活動をお手伝いします。28年度は延19回の支援ができました。志摩会職員が三人程度で体操、運動その他レクレーション等をご提供します。

3 せいかつ志縁隊

28年度は活動は行えませんでしたが在宅高齢者の食事や栄養面で気になることは少なくありません。
フレイルドミノをくい止めるためにも、地域包括支援センター等と連携しながら活動する予定です。

4 たまり場

たまり場桜野のケースでは、年間23回開催、延327人のご参加がありました。ご自身の健康維持に関心が高い方が多く、理学療法士による体操、運動メニューやレク活動も人気ですし、おしゃべりなどでフレイル予防の良い機会です。

5 おでかけ志縁隊

路線バスが走っていない地区で移動手段確保が困難な方の日常生活上必要な「要所」へつなぐ自主運行バス事業の協力を関係者と協議してきました（平成29年度中に実施予定です）。

某経済新聞には毎日のようにAI、IoTなどの字面が踊っています。それだけ国にとって、経済界にとって、いや多方面人たちが、日本全体の将来の姿を意識しているからなのでしょう。

日本の場合、イギリスやアメリカと比較しても、AI（人工知能）やロボット等がこれまで人がやってきた仕事を代替できる割合は労働人口に対して、49％という研究結果があります。ということは、今の半分くらいはAIやロボットがこなせるようになることであり、それだけ日本の生産性を向上させる可能性が出てきたと言えます。

今は
文字入力で
すが音声方式も
導入予定
です

2030年介護の仕事の風景を想像したら…

1 「第四次産業革命」の到来？

これまでの蒸気機関（第一次）、内燃機関（第二次）、パソコン・インターネット（第三次）に続く、AI・ロボット・IoTによる第4次産業革命が進むと言われています。その動きが前述のマスコミ報道になっています。介護事業もこれに乗っかかる必要があります。

2 介護・福祉関係の仕事とAI・ロボット等の代替可能性

一方で、医療・介護・福祉の仕事は人間がいなくていいという部分は少ないのです。従って、人手確保は代替率が高い仕事の人たちをどう呼込めるかが大事。仕事の風景を変えなければなりません。

3 介護ロボット等とリスクマネジメント

例えば、入浴中の体調異変をセンシングして、アラーム発信したり、排泄の自動処理などはリスクマネジメントだけでなく、介護される側にとって尊厳の保持になります。
ヒューマンエラーをバックアップするロボット介護機器（ICT技術を含む）の実用化に期待します。コミュニケーションロボットも一人のご利用者を相手にすることでは、見守り機能も含めて、大きな戦力になりそうです。

4 介護ロボット・ICT等と自立支援介護

権利擁護の視点から、これら先端技術の利用を当事者はどう感じているか　- 介護サービスを利用されている高齢者の皆様は意外に？ロボットに馴染んでおられるようです。今後団塊世代の方たちがご利用の中心となればもっとロボットに心を通わすケースが増えるのでないでしょうか。
また、介護従事者は生産性や効率性を現場であげながら、自立支援介護だけでなく、自他の権利を擁護することが求められると思います。

◆志摩会は今後、全事業所で介護ロボット等介護機器を積極的に導入していく計画です。
　導入を成功させるためのプロジェクトチームを編成して取組みます。

◆介護のシンギュラリーポイントの到来はそう遠くない？

シンギュラリティ（技術的特異点）とは、SB孫社長は「コンピューターのAIが人間の知能を超える日」と言っています。まさか、コンピューターが人間を凌駕してしまう日が来るとは信じ難い、そう考えるのが人間の習慣であり、自然なのですが。今まで大したことはないと思っていたことが突然、凄いモノになってしまう瞬間が来るのでしょう。それを受け止める心の準備を。

◆人とロボットの共生社会

完全二足歩行の超美人アンドロイドも当然登場するわけで、受付に一人雇いたいところですが、嬉しいような、こわいような複雑な心境です。ロボット相手の方が気分的に楽だろうと思っていましたが、ロボットが感情をもつとかえってメンドクサイ？、これも人間のバイアスかも。

OPEN

おこもりカフェ岐志浜

おこもりカフェ岐志浜は、向こう3ヶ月ごとの　“週替り”メニューを用意して皆様のご来店をお待ちしています

立夏を迎えた、岐志のビーチは釣りや水遊びを楽しむ人たちの姿も。磯の香りで体の中は一足先に衣替えです。

第37回　(5/6)　端午の節句に因んで

本物の柏餅！みなさんで手づくりした味は美味しいと評判。新茶で淹れたお茶とあいまっておしゃべりにも花が咲きました

第38回　(5/20)　裏庭音楽会

今回は〈和の心〉がテーマでした

KISOBA・U・F・O様

詩吟とサクソフォンで日本の歌を満喫

櫻井流　興国吟詠会　前原南　様

第39回　(6/3)　映画鑑賞

喜劇急行列車（昭和42年作品）

渥美清、佐久間良子、大原麗子…皆さん若いです。観た後は当時の事を思い出し、おしゃべりが弾みました

第40回　(6/17)　紙芝居・歌他

ボランティア絆様

心地よい語り口が魅力です

第41回　(7/1)　クラブ懐メロ

昭和 20 年代から 40 年代がスイートスポット。レコードで甦るあの頃のわたし…

汗だくで皿を回すDJ古賀！

希望の歌のリクエストに応えられたことがミソ

第42回　(7/15)　出前講座

知って防ごう！悪質商法/市役所根岸様
ボランティアさん演ずる寸劇に笑いもあり

連載企画

いろんな職種から見た 介護の仕事（第13回）

職員リレー

志摩会に働く170人余りの職員の皆さんに仕事や職場、仲間への思いなどを語ってもらっています …

自分の健康状態をきちんとチェック。食べることと睡眠がバロメーターです

井上
（特養 介護職員）

◆22年間の事務職にピリオドを打って、介護に転職して13年目です。志摩園は7年目になりました。
◆母がくも膜下出血になったとき、看護師の妹の対応に感動を覚えました。同時に今後の母の看護・介護、そして父も持病があり、自分が役に立てることを考えたことがこの仕事のきっかけでした。
◆志摩園の素晴らしさは、何でも相談にのって下さる優しい人が沢山いることです。職員同士のコミュニケーションで元気を貰ったり、与えたり。
◆一番の楽しみは、娘家族が遊びに来てくれることです。孫娘5人から、「ばあばあ」と呼ばれてのおしゃべりにほっと「幸せ」を感じます。
◆若い介護職員さんが増えてきました。色々なことを経験して感じる変化は「自己の成長」だと思います。私もご利用者の笑顔を引出し続けたい。

二児の母です。仕事ができるのも母と子供たちの協力のおかげです

長野
（特養 調理員）

◆入職して2年10月です。厨房の仕事は初めてで、何もわからない中、スタートしました。食事形態から、お一人毎の代替食、アレルギーの有無など一つ一つ覚えるので必死でした。
◆もともと料理する事は好きだったので苦ではありませんでしたが、家庭の量の比ではないので、煮つけや煮物などの味付けが調味料の加減が分からず、味見しては調整の繰返しでした。職場の味付けに慣れた頃、家では調味料を入れ過ぎたりといろいろ苦戦しました。
◆私の祖母も志摩園に入園しており、祖母から「ご飯美味しいよ」って聞くと嬉しくなります。
◆好きなことは、やはりお菓子やパン作りです。今は中々時間が無くて作れませんが将来的に、もっと色んな種類、デザインのものが作れるようになりたいと思っています。

モットーはご利用者に楽しく過ごしていただくこと。ハーモニカが得意です

中隈
（特養 介護職員）

◆志摩園に働き始め7年目です。50才の時、家に届いた回覧板を見たことがきっかけで、ホームヘルパー 2級の資格を取りました。また、実習先がたまたま志摩園でした。それから数年を経て、職場も志摩園になりました。
◆昨年は家の田植えの残り苗をみて、ふと志摩園で育ててみたくなり、衣装ケースで小さな水田を作りました。“田植え”から“稲刈り”までご利用者と職員さんと一緒に楽しみました。
◆何事にも手作りが大好きで今は梅仕事の季節です。実った梅を見て、今年は志摩園で梅干しを作ることにしました。ご利用者に梅を洗っていただき、一粒ずつキッチンペーパーで拭いて塩漬けに。赤しそをデイサービスの畑の隅っこに植えて、収穫したら塩もみして梅と融合。
皆様とのご縁と応援に感謝。

志摩園夏祭りのご案内

今年は私たちがメイン司会を務めます

　もちろん私たちだけでなく、若手の運営委員会はじめ、全ての職員が関ってくださり、さらに地域の皆様のご協力で準備も進んでいます。
　ご利用者、ご家族、地域の皆様、そして志摩会がさらに繋がる機会になりますように願っています。

河合　昨年に続いて2年連続の司会を担当します。だから、もっとカッコよく、スマートなMCのヒーローになります。

楠本　そうですよねぇ。夏祭りの成否は天気と舞台演芸の魅力をさらに引き出す司会者の手腕にかかっていると園長が言ってました。上手く行ったらいつかの合せ技でご褒美があるかもよとも　…

河合　ますますヤル気が出てきました。

と　き　平成29年8月5日(土)17時55分～
ところ　特別養護老人ホーム志摩園駐車場
※来場者駐車場は引津小学校をお借りしています。
　安全運転にご協力ください。
※雨天中止
お問合せ:092-328-2121　志摩園事務室

【編集後記】　なんともタフな新年度第一四半期でした。とにかく目の前の仕事を一つずつこなすことが精一杯で、原因は制度改革に関連した新しいタスクへの対応が最大の理由でしょう。そんな中、新人職員が早くも予想以上に活躍してくれたことは大きな成果です。
　実をいうと、この「志摩園だより」も1回飛ばそうかなと思いました。いつもなら、6月中には9割方ドラフト原稿が出来上がって、7月中旬までにチェックを繰り返すのが常ですが、今年は6月に入っても昼も夜も前記仕事に手を取られました。仕事は忙しければ忙しいほど集中して楽しむ性質(タチ)なので苦にはなりませんが、処理する時間が無いのはストレスになります。
　ただ仕上げるだけならなんとかすると思いますが、自分が納得できるレベルになっているかが大事です。
　一発でストンと自身の腑に落ちるものができるときもあれば、何度も修正しなければならないことも多いです。ミュージシャンが曲作りのエピソードでメロディが先にできるのか、歌詞が先かという質問に、どっちのケースもあると答えます。ポールマッカートニーもどうやって曲を作るのかと聞かれ、「こうやって作るんだ」と言ってギターをかき鳴らし始め(最初は何かわからない)、そのままビートルズの曲につながるというカッコイイ演出が東京ドームでありました。
　志摩園だよりも、写真を見て文章を考えるか、先に文章があってそのイメージの写真をとるか、写真を撮りながら同時に文章がひらめいたりとケースバイケースですが、良い写真が撮れると俄然ヤル気が湧き上がります。だから、構想は早く持っていないと時機を逃してしまいます。
　最近は、ロボットやICT、IoTなどを使ったサービスの開発や展開などの記事が毎日のように新聞に載っています。介護業界にとって、これらの新世代技術の普及は福音になることは違いないでしょう。
　そこで人間並みか、それ以上の人工知能(AI)をもったロボットが登場すれば、小説や学術論文までロボットが書いてくれるようになるわけで、どんなに忙しくても志摩園だよりを休刊にするなどありえないことになると思います。まあ、そんな大げさものではありませんが、予定どおり発行できて、自分を褒めてあげたい気分です。

(A・K)